

ホームページ開設!

7月1日よりホームページ開設しました。
お気軽にアクセスしてみて下さいわ。

ホームページアドレス <http://www.sgic.jp/hakkoen/>
Eメールアドレス hakkoen@shirataka.jp



白鷹福祉会では、職員の資質向上のため、毎年様々な研修に参加しております。今年度は、一年を通して16班に分かれ、県外の老人施設の視察研修を計画・実施しております。他施設を視察させて頂き、より良い介護サービスを皆様へ提供できますよう、職員一同、一丸となります。

平成15年度社会福祉法人白鷹福祉会決算状況

一般会計 白鷹福祉会合算
(本部・白光園・白光園DSC・はっぴーDSC・はっぴー在介・白鷹陽光学園)

貸借対照表
(平成16年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部	負債及び純資産の部		
流動資産	483,493	流動負債	52,929
固定資産	2,793,758	固定負債	253,430
		負債の部合計	306,359
		基本金	700
		国庫補助金等特別積立金	2,149,699
		その他の積立金	382,576
		次期繰越活動収支差額	437,917
		純資産の部合計	2,970,892
資産の部合計	3,277,251	負債及び純資産の部合計	3,277,251

事業活動収支計算書
(自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)

事業活動支出	1,080,199	事業活動収入	1,211,858
事業活動外支出	19,705	事業活動外収入	19,624
特別支出	1,886,524	特別収入	1,885,576
計	2,986,428	計	3,117,058
当期繰越活動収支差額計			130,630
前期繰越活動収支差額			343,776
その他の積立金積立額			36,489
次期繰越活動収支差額			437,917

*詳細は法人事務所において閲覧等の方法により開示します。

社会福祉を取り巻く環境があまりにも大きく変動する中、特別養護老人ホーム白光園六代目施設長として職務を担うこととなり、改めて責任の重さを痛感しております。初代理事長はじめ、歴代施設長が築いてこられた二十四年間の貴重な歴史を次代に残すことができるよう、精一杯職員と共に日々自己研鑽に励んでおります。

私は、開所当初から白光園の職員としてお世話になり、「公設民営」の施設づくりに二十四年間かかわせていただき、大変多くの方々と関わりを持つ中で、公益性の高い社会福祉事業の重要性を悲喜こもごもの中で強く

感じてきました。時代は大きく変わり、「民設民営」へと移行せざるを得ない経済状況を背景とした国の動きに、自ずと競争原理が働き、経営なくして運営が成り立たないことが余儀なくされる厳しい状況です。しかし、社会福祉事業の理念はそのまま継続しています。これから動作に不安は隠しきれないものがありますが、情報を的確に把握し、多様化する変化に対応できるよう心掛けると共に、地域の方々に求められる、地域に根ざした質の高いサービスが提供できるようになります。それには何よりも職員の働き、「人

的資源」の重要性を肝に銘じてあります。白光園は、常に明るく生きがいのある施設づくりを目指してきましたが、利用者の高齢化、重度化、痴呆化が進む中で、利用者の方々のつくり笑顔ではない、真の笑顔を見せていただくまでは、まだまだ質の高いサービスのあり方を日々考え、模索しなければなりません。そして、利用者の方々を洞察し、期待以上のことに応えられる介護を行える職員であるよう努力すると同時に、建物、設備、安全等、取り巻く環境にも気配りし、充実を図るよう努力しています。

人間は昔から、生まれて、御飯を食べて、年をとり、病気を積み重ねられるような、居心地の良い生活空間をあたりまえに自然に提供できる努力をしたいと思っています。

このような時代だからこそ、暗愁の思いを感じる時が誰しもあると思います。これからのお年福祉について自分の立場でどうすれば最善か真剣に考え、利用者の皆さんに、白光園で生活するようになつたら世の中が明るく見えるようになったと言つていただけます。そこで有効効果大の健全経営を目指し、質の高いサービスを利用者の方々に提供できるよう日々精励し、職員と共に頑張ります。皆様のお力添えをお願い致します。



あたりまえのことを、あたりまえに自然に

白光園園長 遠藤れい子

したり、そしていくら医療が充実しても死を免れることはできません。いつでもどこでも、人間のすることがあたりまえのことですが、それについてきちんと考ることが「重要」だと思つています。誰しもそうですが、过去了年数は戻ってきません。だからこそ、白光園でお過ごしにだけたら気分の良い日々を